

事業所名

Weatherhelm 北山田

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2026 年

9月

16 日

法人（事業所）理念		今を生きる子どもたちも、いつかは大人になり、『自立』する時が訪れる。 療育によって子どもたちの能力を引き出し、未来への可能性を広げ、社会から孤立することなく「幸せ」を感じるこのことのできる子どもたちの育成を目指す。 子どもたちの気持ちを汲み取りながら、粘り強い支援を行う。										
支援方針		1.【3つの柱】 発達支援・家族支援・地域支援の3つの柱に基づいて支援方針を定める。 2.【心と身体を育み、安心して過ごせる場所の提供】 遊びは最大の刺激であり成長の糧となる。心身ともに解放でき、ストレスや葛藤を調整克服していける環境づくりを目指す。 適切なトレーニングを取り入れた遊びや学習、作業による発達支援を行うことで、自立や社会順応性を高める。 3.【一人ひとりの個性と長所を伸ばすための療育の実施】 子どもたちが『楽しむ』ことを大切にする。 個性を押さえつけることなく、個々の特性や長所を伸ばしながら様々な経験を積むことによって、自立する力や社会に順応する力を養う。 4.【生きる力を育む支援】 子どもたちがやがて社会へ参加する際に、身につけておかなければならない規範やコミュニケーション能力の育成を視野に入れた支援を行う。										
サービス提供時間		月曜日～金曜日 土曜日・学休日	14 10	時	00 00	分から	17 16	時	00 00	分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	日常生活における自立を図ることを目指す。 ・生活リズムの確認を行い、日々の生活とのつながりを意識しながら、自身の体調などへの気付きを促していく。 ・基本的日常生活動作(食事・整容・学校生活に伴う動作)の獲得から、手段的生活動作(料理・買い物・掃除など)の獲得を支援していく。 ・おやつ作りや食事作りを通して食への興味を養う。 ・自主的なスケジュール確認への意識付けを係を通して行う。										
	運動・感覚	感覚統合療法を主軸に基礎感覚の向上をはかる。 ・外遊びや室内での運動を通して、基礎体力の向上を目指す。 ・姿勢保持を維持できるようになるため、体全体に力を入れる運動・重力に抗する運動、また、バランスが必要な運動を行う。 ・手指の分離を促す微細課題を行う。 ・感覚の過敏さや感覚の受け取りにくさに配慮して行う。										
	認知・行動	認知力を強化し、適切な行動を学ぶことで日常生活での適応力を高める。 ・物の管理の仕方を学び、自分で必要なものを用意・準備できるよう、個々の課題に応じて練習を行う。 ・行動ルールの学習として、日常生活の場面展開などをロールプレイで社会的ルール（公共の場でのマナーや学校でのルール等）を学び日常生活での適切な行動を身につける。 ・行動の手順を視覚的にわかりやすく示すことで、学校生活や日々の活動の見通しをつけて行動できるように支援していく。 ・四季を感じられる活動を経験し、季節ごとの学校行事などを楽しめるよう支援していく。										
	言語 コミュニケーション	・言語発達を促す関わり、またその子にあった表現方法（非言語的表現を含めた）表現方法を見つけて伸ばす支援を行う。 ・学校生活、社会生活にかかせない基本的な挨拶や返事の仕方、対応を集団生活の中で学んでいく。 ・他児や指導員とのやり取りの中で、伝え方のモデルを示すことで、基礎的なコミュニケーション能力の向上を図る。 ・子ども個々の特性に配慮しながら、言語コミュニケーションに限ることなく、多様なコミュニケーション手段を活用できるような支援を行う。										
	人間関係 社会性	他者との関係を築き、社会的な場での行動を学ぶことで、社会性を向上させる。 ・集団活動を通じ、集団への参加や仲間づくりなど、社会的発達を促す。・自己理解を促す関わりを行う。 ・社会性の基礎となっていく身近な他者への信頼・関心を形成し、他者への理解を促す。										
家族支援		・日常での困りごとや 児童の成長にともなう支援の方法をおひとりでお伝えできないよう、何でも相談できる場としてご家族に寄り添う。 ・ご家族に必要なレスパイトケア（休息）としての役割を担う。						移行支援		・保護者への情報提供や移行先での環境調整を行う。 ・移行先との援助方針や支援内容等の共有、支援方法の伝達を行う。 ・学童や他施設併用先との連携を行う。		
地域支援・地域連携		地域交流できるイベントの開催や、地域主催のイベントや行事に参加して、地域社会との交流を深める。						職員の質の向上		・定期的な研修受講とスキルアッププログラムの導入。 ・現場での実践とフィードバック、支援の共有の徹底。 ・外部専門家による助言や指導。		
主な行事等		・公園外出・クリスマス会・夏祭り・おやつ作り・ハロウィン・広場運動・誕生日会など多数実施予定。										